

# 長野県高等学校改革プラン 実施計画

---

---

---

平成18年3月

長野県教育委員会

## はじめに

近年、生徒数の減少や生徒の多様化が進む中で、全国的に高校改革についての検討が進められ、多くの県で再編整備が実行に移されてきております。長野県においても、中学校卒業生数は、平成2年をピークに減少を続け、平成31年にはピーク時の55%程度まで落ち込むことが推測されています。

生徒数の減少により、学校の小規模化が進み、学習活動をはじめ部活動や学校行事、生徒会活動など学校教育全般にわたっての活力低下が懸念されております。

このような状況の中、少子化の将来を見据えて、本県の高校教育の一層の充実を図るため、平成15年度から高校改革プランに着手し、平成16年1月には「高等学校改革プラン検討委員会」を設置して「魅力ある高校づくり」や「適正規模及び配置」等について検討していただきました。

検討過程においては、県民アンケートやパブリックコメントの実施、旧12通学区ごとの地域懇談会の開催など、様々な方法により、幅広く県民の皆様のご意見をお聞きしながら検討していただき、平成17年3月に最終報告が提出されました。

長野県教育委員会では、最終報告に基づき、平成17年5月に「高等学校改革プラン推進委員会」を設置し、県立高校の魅力づくりや再編整備、総合学科高校及び多部制・単位制高校の配置等について検討をお願いしました。推進委員会では、通学区全体を見渡した広い視点に立って、延べ70回に及ぶ会議を重ねていただき、平成18年2月8日までに、全ての推進委員会から、検討結果についての報告書を提出していただきました。

各推進委員会から提出していただいた報告書を十分考慮するとともに、各地区の説明会や意見募集で寄せられたご意見等を参考にさせていただき、長野県教育委員会として「高等学校改革プラン実施計画」を策定いたしました。

今後は、本実施計画の基本的な枠組みは堅持しつつ、総合学科の設置系列や新たな募集におけるコースの名称及びその具体的内容等については、当該校の校長を中心として、教職員、生徒、保護者、学校評議員や同窓会等の皆様からのご意見をお聞きしながら詳細を決定してまいります。

長野県教育委員会としましては、未来の高校生が生き生きと学ぶことのできる高校づくりを目指して、この実施計画の実現に向けて努力を重ねてまいりますので、皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

平成18年3月

長野県教育委員会

# 目 次

はじめに

<b>1 実施計画策定の基本方針</b>	
（1）高校システムの全体規模	1
（2）総合学科高校と多部制・単位制高校の設置	1
（3）柔軟化、多様化、魅力づくり	1
（4）再編整備の対象となっていない学校の魅力づくり	2
（5）施設・設備	2
<b>2 実施計画策定に至るまでの経過</b>	2
<b>3 再編整備の進め方</b>	4
<b>4 今後の主なスケジュール</b>	
（1）平成19年度から募集開始の場合	5
（2）平成20年度から募集開始の場合	6
<b>5 再編整備の基本的な手順</b>	7
<b>6 再編整備による県立高等学校数</b>	7
<b>7 第1通学区再編整備実施計画</b>	
・飯山照丘高校、飯山北高校、飯山南高校【統合】	8
・中野高校、中野実業高校【統合・総合学科】	10
・中条高校、犀峡高校【統合】	12
・長野南高校、松代高校【統合】	14
・屋代南高校【多部制・単位制】、長野吉田高校（定時制）、 長野商業高校（定時制）、篠ノ井高校（定時制）、上田千曲 高校（定時制）【統合】、長野西高校（通信制）【統合】	16
<b>8 第2通学区再編整備実施計画</b>	
・丸子実業高校【総合学科】	18
・蓼科高校、望月高校【統合】	20
・野沢南高校（全日制・定時制）【多部制・単位制】	22
<b>9 第3通学区再編整備実施計画</b>	
・岡谷東高校、岡谷南高校【統合】	24
・箕輪工業高校（全日制・定時制）【多部制・単位制】、 上伊那農業高校（定時制）【統合】	26
・飯田工業高校（全日制・定時制）、飯田長姫高校（全日制・ 定時制）【統合】	28
<b>10 第4通学区再編整備実施計画</b>	
・木曽高校、木曽山林高校【統合】	30
・松本筑摩高校（全日制・定時制）【多部制・単位制】、 松本工業高校（定時制）【統合】	32
・大町高校、大町北高校【統合】	34
<b>再編整備の概要</b>	36

# 1 実施計画策定の基本方針

## (1) 高校システムの全体規模

高等学校改革プラン検討委員会からの最終報告に基づき、少子化の進行を踏まえ、各学校の規模を一定に保ちつつ、生徒が充実した高校生活を送り、豊かな将来を築く基礎を培うための教育環境を整備するために、県立全日制高校の総数を89校体制から75校体制に再編成する。

その際、本県の地勢的状况を考慮し、通学困難な地域が生じることのないよう配慮するとともに、交通の利便性や立地条件等、特別な事情のある学校の場合も、充実した高等学校教育を保障する観点から、一定規模の生徒数を確保できるよう配慮していく。

## (2) 総合学科高校と多部制・単位制高校の設置

多様な学習ニーズに応えるため、既設の高校を転換し、各通学区に総合学科高校と多部制・単位制高校をそれぞれ1校ずつ配置することを基本とする。ただし、第4通学区の総合学科については、塩尻志学館高校に設置されていることから、新たな総合学科は設置せず、塩尻志学館高校のより一層の充実・発展を図る。また、第3通学区の総合学科については、高等学校改革プラン推進委員会の結論が得られなかったことから、当面は総合学科高校の設置は見合わせ、今後の課題とする。

## (3) 柔軟化、多様化、魅力づくり

魅力ある高校づくりに関しては、これまで、コース制の拡充や多様な類型・選択制の導入、学校間連携による単位認定、個に応じた学習指導の推進、社会人講師の活用、高大連携の推進、職業科の改善充実、特色ある学科の設置、学力向上フロンティアハイスクール事業、就業体験活動の推進、地域との連携、特色ある学校設定科目の設置など、さまざまな取り組みを進めてきている。

これまでのこうした取り組みの上に立ち、本実施計画に、再編対象校として名前が挙がっている学校も、名前が挙がっていない学校も共通して、生徒の学習ニーズや保護者の願いに応えることのできる魅力づくりを、より一層推進していくことが強く求められている。

そのためには、総合学科や多部制・単位制といった新しいシステムを活用した学校の設置のみならず、各学校が地道に取り組んできている魅力づくりをさらに発展させた、内発的な改革・改善を促進していくことが何よりも重要であると考えている。

#### (4) 再編整備の対象となっていない学校の魅力づくり

本実施計画の中に記載されていない学校についても、今回の改革プランの実施に合わせて、平成 20 年度までを目途に、理数科、英語科などの特色学科や専門学科の改編、コース制の見直し、単位制の導入、連携型中高一貫教育、コミュニティ・スクールや、文部科学省の事業である、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）やスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）、スーパー専門高校などへの積極的プロポーザル等について検討を進め、魅力づくりに関する積極的な提案のあることを期待したい。

検討するにあたっては、学校長の判断により、必要に応じて自校の将来像を検討するための組織を設置するなどして、高等学校改革プラン検討委員会からの最終報告で提案されている魅力づくりに関するアイデアや推進委員会からの報告書を参考にしながら検討を進めていくことが大切である。

その際、その検討組織の一員として、生徒や保護者、学校評議員や同窓会はじめ地域関係者に加わっていただく工夫などをして、積極的に関与していただき、魅力づくりを推進していくことも大切である。

県教育委員会としては、各学校からの将来構想や魅力づくりに関する提案を総合的に判断し、本県に学ぶ全ての高校生が、主体的・意欲的に学習に取り組む、充実した学校生活を送ることができるよう、実施可能なものは適切かつ迅速に対応していくこととする。

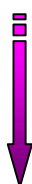
#### (5) 施設・設備

再編整備に伴って必要となる施設・設備等については、既存の施設の状況や統合・転換後の設置学科、設置コース、学校規模等によって異なるが、必要な改修や設備等の充実については、詳細な教育内容の決定と合わせて検討していくこととする。

## 2 実施計画策定に至るまでの経過

平成 15 年度

4 月	高等学校改革プランに係る検討 (教育委員会事務局内ワーキンググループの設置)
-----	---



中学 3 年生を対象としたアンケート調査の実施 [ 約 2,800 人 ] ( H15.6 )  
中学 2 年生を対象としたアンケート調査の実施 [ 約 4,200 人 ] ( H15.11 )  
高等学校改革プランの検討資料の作成



1月 「高等学校改革プラン検討委員会」の設置（14回開催）

〔「多様化する生徒の希望に応えることができる、魅力ある高等学校づくり」と「生徒数の減少や4通学区制の実施等に対応した高等学校の適正な規模及び配置」についての検討を行うために設置（県内外から8名の委員により構成）〕



平成16年度



県民アンケートの実施（H16.6）

県民意見募集の実施（H16.6～8）

高等学校改革プラン検討委員会「中間まとめ」公表（H16.8.30）

- ・小、中、高校生の全てに「中間まとめ」の概要版を配布〔約30万部〕  
中間まとめに関する意見聴取
- ・パブリックコメントの実施（H16.8～10）
- ・地域懇談会の実施〔県内12会場〕（H16.9～10）
- ・県立高校からの意見募集の実施（H16.9）
- ・中学校、高校への説明会の実施〔22校〕（H16.10～H17.2）

9月 「高等学校改革プラン懇話会」の設置（6回開催）

〔「中間まとめ」に関して、幅広く県民の皆様から意見を聴くことを目的として設置（県内各界から30名の委員により構成）〕

高等学校改革プラン検討委員会「最終報告」提出（H17.3.29）

〔高校改革を検討するための「大枠ルール」や「様々なアイディア」などを提案〕



平成17年度

5月 「高等学校改革プラン推進委員会」の設置（延べ70回開催）

〔高等学校改革プラン検討委員会の最終報告を踏まえ、「魅力ある高等学校づくり」や「高校再編整備」などについて検討を行うために設置（4つの通学区ごとに14名の委員により構成〔計56名〕）〕



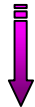
地域で開催される高校改革に係る学習会等への出席〔県内28会場〕  
（H17.6～H18.3）

高校改革プランに係る提案募集の実施（H17.12～H18.1）



高等学校改革プラン推進委員会「報告書」提出

第1(北信)推進委員会：19回開催、H18.2.7(火)報告書提出  
 第2(東信)推進委員会：18回開催、H18.2.8(水)報告書提出  
 第3(南信)推進委員会：16回開催、H18.2.3(金)報告書提出  
 第4(中信)推進委員会：17回開催、H18.1.26(木)報告書提出



高校改革プラン説明会の実施[県内8会場](H18.2)

3月「高等学校改革プラン実施計画」の策定

### 3 再編整備の進め方

新たな募集の開始は平成19年度を基本とするが、多部制・単位制への転換の場合は、新たなシステムの導入であることから、一定の準備期間が必要であり、平成20年度からの開始とする。

ただし、松本筑摩高校の多部制・単位制への転換については、既に2部制(昼間、夜間)の単位制を導入しており、そのノウハウを持っていることから、平成19年度からの募集開始とする。

新たな募集に当たっての募集定員の決定については、旧通学区毎の中学校卒業生数の動向や区間流入の推移等を考慮し、通学区全体の新たな高校配置の中で、適切な各学校の募集定員を確保する。

例 第 区			H19年度募集学級 (新たな募集)	
H18年度募集学級				
A校：5学級	} 統合	→	A・B校：	7学級
B校：5学級			C校：	5学級
C校：5学級			D校：	6学級
D校：6学級			E校：	5学級
E校：4学級			F校：	7学級
F校：7学級			G校：	3学級
G校：3学級			H校：	3学級
H校：2学級				
計 37学級		計 36学級		

7学級  
5学級  
3学級  
3学級

7学級 は、変更になった募集学級

統合や転換等は年次進行とし、新たな募集以前に入学した生徒については、それぞれ入学したときの高校の教育課程を履修し、入学した高校の卒業生とする。

統合や転換等の過程において、在籍する生徒の学習活動や特別活動、進路指導等に支障を来すことのないよう適切な措置を講じる。

統合や転換等の過程においては、必要に応じて再編整備対象校同士の合同授業や合同の学校行事を実施する。（卒業式、体育祭、文化祭、等）

統合や転換等の過程においては、必要に応じて再編整備対象校同士の合同のクラブ活動を実施する。（対外試合含む。）

各学校の教育課程を適切に実施するための効果的な教員配置を行う。

統合の過程において、両校の地理的条件等を考慮し、必要に応じて両校間の生徒の移動手段について配慮する。

#### 4 今後の主なスケジュール

##### (1) 平成19年度から募集開始の場合

年度	月	内 容
平成18年度	4月	実施計画及び概要版の配布 該当校への説明 中学、高校への説明 地域への説明会の開催 教育目標、教育内容、教育課程の検討 必要な施設・設備の検討 生徒、保護者、地域関係者等からの意見聴取 前期選抜募集の観点の検討
	8月	募集案内作成 必要な施設・設備の充実、生徒在籍管理システム導入等の計画策定 各中学校へのPR活動 体験入学の実施（中学生や保護者への説明）
	9月	公立高等学校入学者選抜における学校別実施概要公表 各高等学校による中学校訪問（説明会）
	11月	入学志願者第1回予定数調査発表 平成19年度県立高等学校募集定員の決定
	1月	入学志願者第2回予定数調査発表
	2月 3月	前期選抜実施 後期選抜実施
平成19年度	4月	新入学生の受け入れ

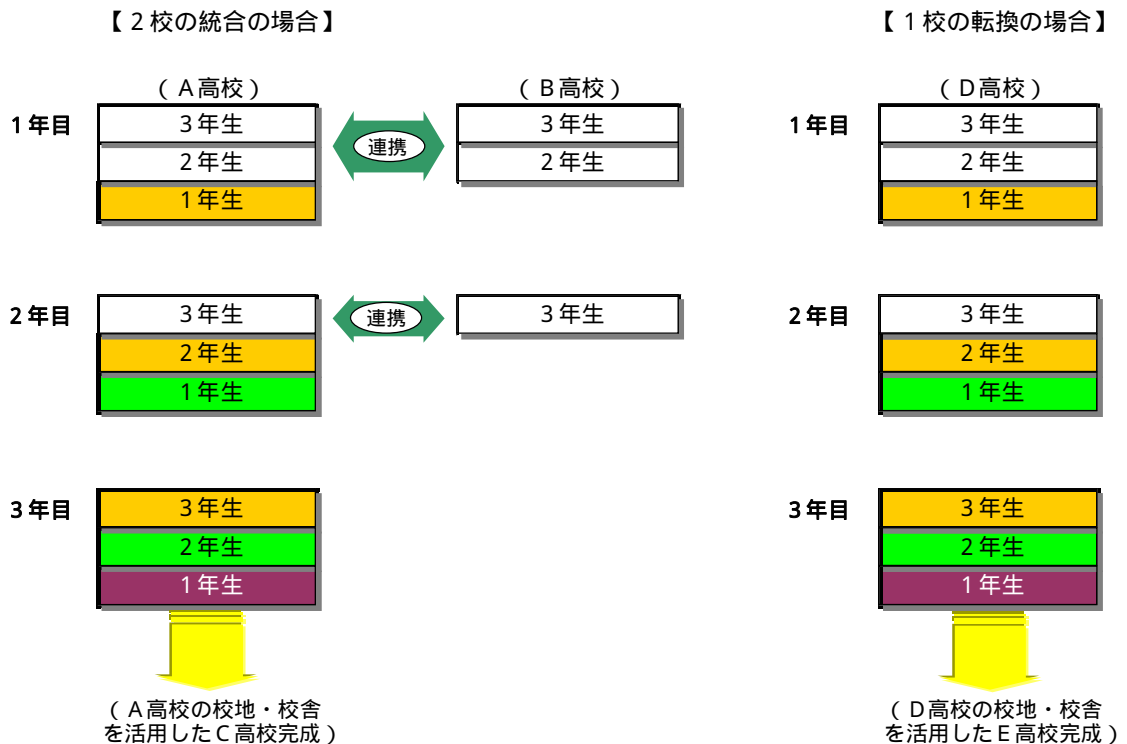


( 2 ) 平成 2 0 年度から募集開始の場合

年度	月	内 容
平成 18 年度	4 月	実施計画及び概要版の配布 該当校への説明 中学、高校への説明 地域への説明会の開催 教育目標、多部制・単位制の教育課程等の検討
	↓	
	8 月	必要な施設・設備の検討 生徒、保護者、地域関係者等からの意見聴取
	↓	
	11 月	必要な施設・設備の充実、生徒在籍管理システム導入等の計画策定 詳細な教育内容、内規等の検討
	1 月	多部制・単位制教育課程の決定 学校案内作成
平成 19 年度	6 月	募集案内作成 各中学校への P R 活動
	8 月	体験入学の実施（中学生や保護者への説明）
	9 月	公立高等学校入学者選抜における学校別実施概要公表 各高等学校による中学校訪問（説明会）
	11 月	入学志願者第 1 回予定数調査発表 平成 20 年度県立高等学校募集定員の決定
	1 月	入学志願者第 2 回予定数調査発表
	2 月 3 月	前期選抜実施 後期選抜実施
平成 20 年度	4 月	新入学生の受け入れ

## 5 再編整備の基本的な手順

### 再編整備の基本パターン



上記は全日制の再編整備の基本パターンであり、定時制および多部制・単位制は4年目に完成する

## 6 再編整備による県立高等学校数

	再編整備前	再編整備後
全日制課程の高等学校	89	75
うち定時制課程併置の高等学校	22	10
うち通信制課程併置の高等学校	2	0
多部制・単位制の高等学校	0	4
うち通信制課程併置の高等学校	0	2
全高等学校数	89	79

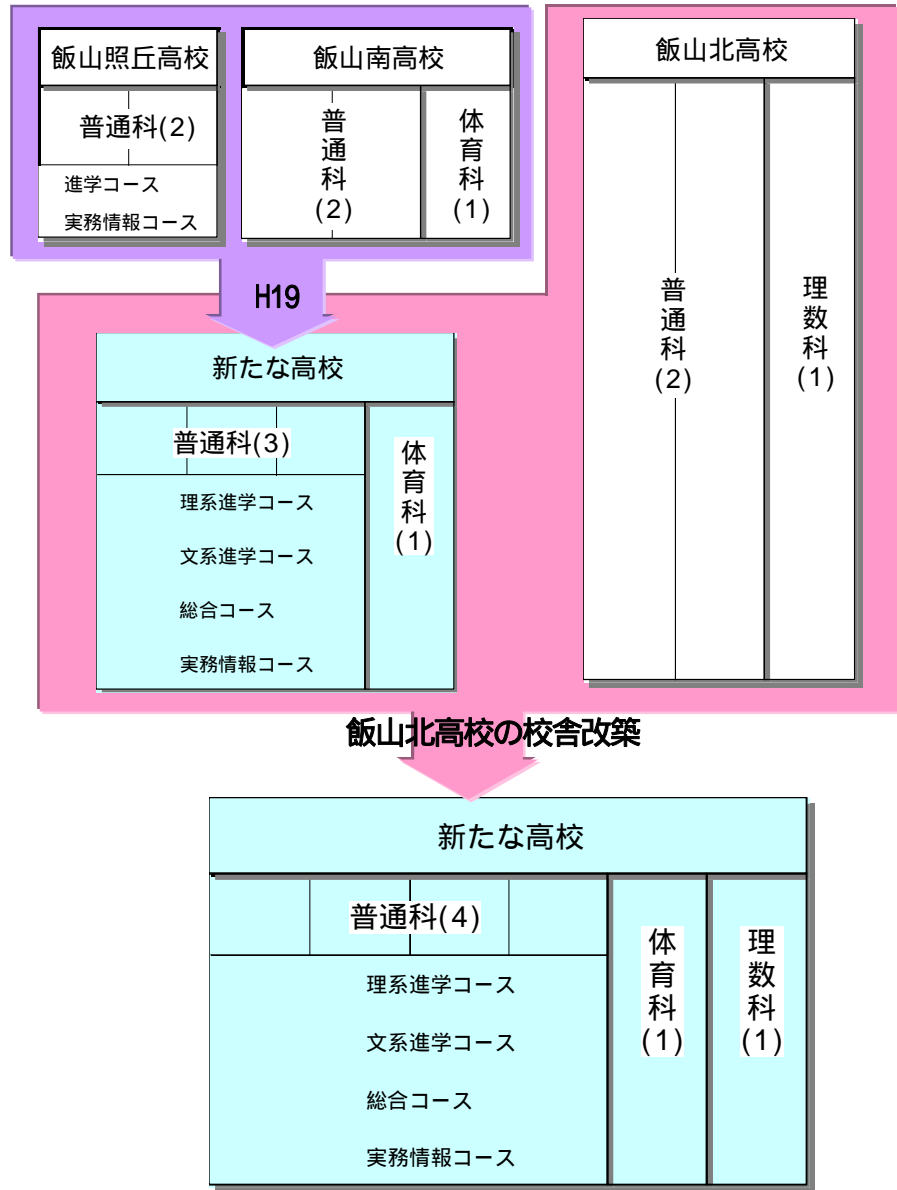
定時制課程併置の高等学校22校のうち、2校は既に定時制課程の募集を停止している

## 7 第1通学区再編整備実施計画

再編対象校【形態】	飯山照丘高校、飯山北高校、飯山南高校【統合】
募集開始年度	平成19年度 飯山照丘高校と飯山南高校の統合 その後、飯山北高校の校舎改築に合わせ、飯山照丘高校と飯山南高校を統合した新たな高校と、飯山北高校の統合
活用する校地校舎	飯山照丘高校と飯山南高校の統合に際しては飯山南高校 最終的には飯山北高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	飯山照丘高校と飯山南高校を統合した新たな高校では、 全日制 普通科3学級、体育科1学級 最終的には、 全日制 普通科4学級、理数科1学級、体育科1学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 県内唯一の体育科設置校の魅力を活かすとともに、地域の生徒を広範に募集し、多様な進路希望に応えることができる学びの選択肢を持ち、地域の人材を養成する高校</p> <p><b>【教育課程】</b> (1) 統合前の学校に設置されていた学科を引き継ぎ、普通科にはコース制を導入する。 (2) 平成19年度からの新たな高校では普通科と体育科を設置し、普通科には、コース制を採用し、入学者の広い学力幅に対応する。 理系進学コース：理数系の科目を多く履修し、理系の大学進学を目指す。 文系進学コース：語学、社会科学系の科目を多く履修し、文系の大学進学を目指す。 総合コース：幅広く科目選択ができ多様な進路希望に応える。 実務情報コース：情報処理などの専門科目を履修し、情報社会を積極的に生きられる人材を育成し、多様な進路希望に対応する。 (3) 最終的な統合校では、普通科、理数科、体育科を設置し、普通科においては、コース制を継承する。</p> <p><b>【その他】</b> (1) 3校の統合にあたり、生徒数の推移から2段階の統合方針で統合を行う。その際、平成19年度は、飯山照丘高校と飯山南高校を統合するが、3校統合を視野に入れた教育目標、学校内規、校内組織などに刷新する。</p>

(2) 新たな高校では、飯山市内の中学校との連携を図る。

【イメージ図】



備 考

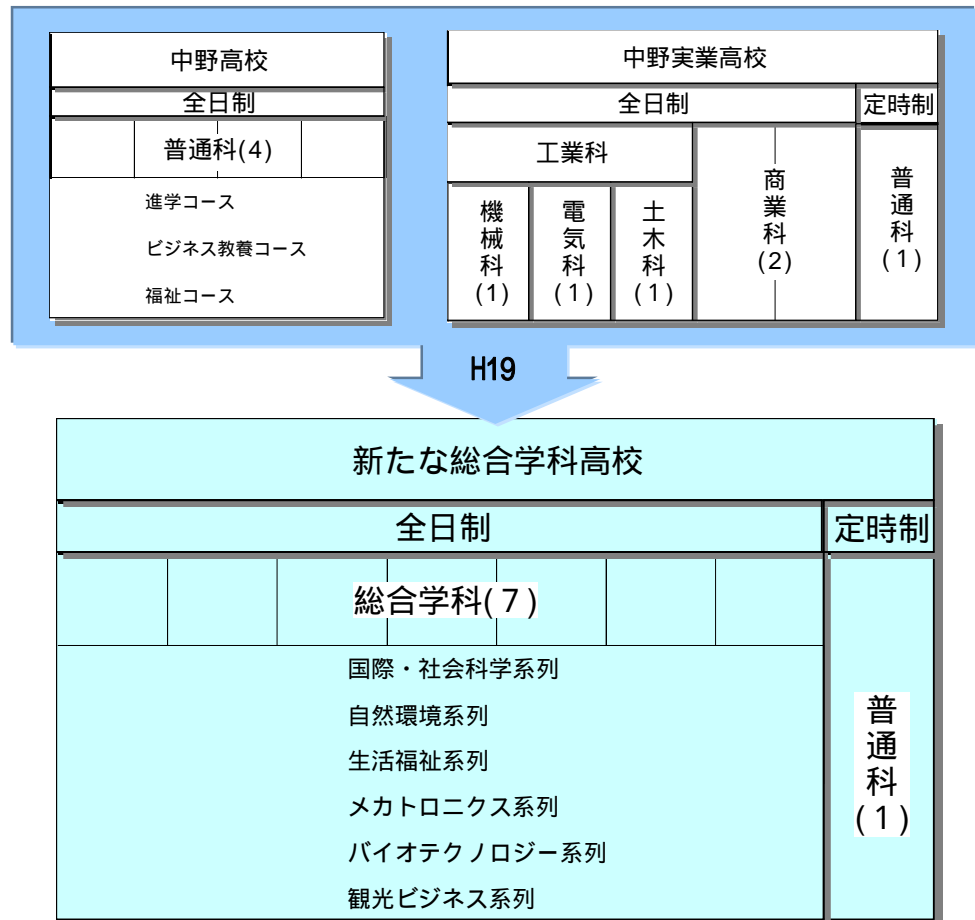
注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数

再編対象校【形態】	中野高校、中野実業高校【統合・総合学科】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	中野実業高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 総合学科 7 学級 定時制 普通科 1 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 地域からの教育ニーズに対応し、キャリア教育と地域連携に重点を置く総合学科高校</p> <p><b>【教育課程】</b> (1) 中野高校のコース(進学、ビジネス教養、福祉)、中野実業高校の専門学科(機械、電気、土木、商業)をベースに系列を整備する。 (2) 地域の教育ニーズである集約型農業(きのこ、園芸など)に関連する系列、国際教養や観光に関する系列などの整備に配慮する。 (3) 専門学科で実践されてきた専門教育が体系的に選択できる大卒の系列配置と、系列間の融合的科目選択を可能にして、様々なキャリアを築くことができるように、以下のような分野から 6 系列程度を設定する。 国際・社会科学系列：語学や国際理解、社会科学など文系大学進学に向けた科目を主に配置する。 自然環境系列：理科、数学など理系大学進学に向けた科目や、土木に関する専門科目を主に配置する。 生活福祉系列：介護、福祉を広くとらえ、専門性の基礎となる科目を主に配置する。 メカトロニクス系列：機械、電気、電子などの技術を基礎においた、工業生産に関する専門科目を主に配置する。 バイオテクノロジー系列：集約型農業に対応した生物生産に関する専門科目を主に設置する。 観光ビジネス系列：ビジネスに関連して、地域の観光について学ぶ科目を主に配置する。 (4) 単位制・2 学期制として、前期・後期それぞれに科目選択を可能とする。 (5) 科目「産業社会と人間」などに、両校のキャリア教育の実践例を活かし、科目選択のガイダンスなど、継続的で一貫したキャリア教育を行う。</p>

(6) 統合後の総合学科高校には、現在、中野実業高校に設置されている定時制普通科1学級を併設し、単位制を導入する。  
 多部制・単位制高校の屋代南高校と連携を図り、定通併修などにより3年間の卒業を可能とする。  
 e-Learning を活用した学習を行うなどの充実策を図る。  
 カウンセリング体制の整備などを行い、多様な生活歴の生徒に対応する。

【イメージ図】



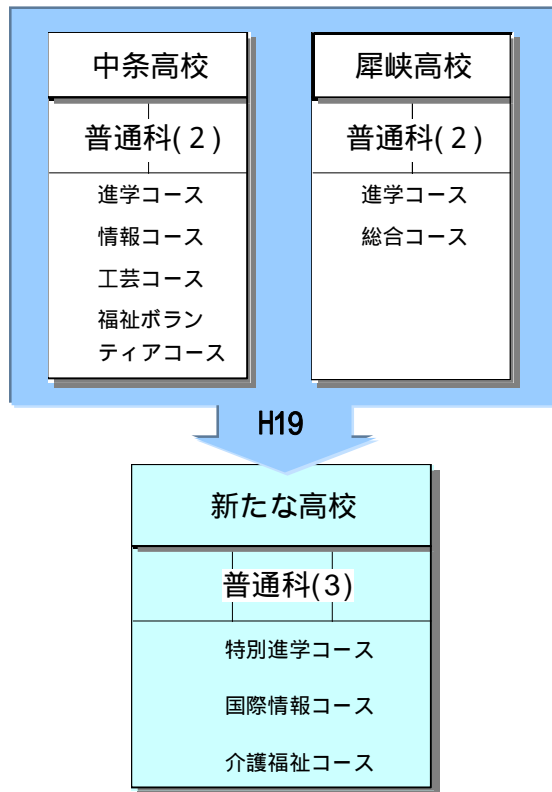
備 考

注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数

再編対象校【形態】	中条高校、犀峽高校【統合】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	犀峽高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 普通科 3 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 地域の小規模な高校として、少人数講座を編成し、密接な人間関係を築き、基礎基本を身につける教育や大学進学に対応する教育など、きめ細かく多様な生徒に対応できる高校</p> <p><b>【教育課程】</b> 中条高校のコース（進学、情報、工芸、福祉ボランティア）、犀峽高校のコース（進学、総合）をベースにコース制を整備する。 特別進学コース：小規模な高校のメリットを活かした少人数講座編成や、自然を活かした学習キャンプなどを行い、少数精鋭で国公立・私立を含めて 4 年制大学への進学を目指す。 国際情報コース：今後の社会において地域から世界へ向けての情報発信が大切になることを理解させ、情報活用能力の向上と望ましい情報社会を形成するためのリーダーを養成する。 介護福祉コース：高齢社会に対応し、ボランティア、ファミリー・ケアなど、身近な福祉を積極的に考えられる人材を養成する。</p> <p><b>【そ の 他】</b> （１）クラブ活動では、全国大会出場の実績のある犀峽高校のカヌーなどの取り組みを継続・発展させる。 （２）学習指導、進路指導、生徒指導など、地域に根ざし、地域との連携を図った小規模校の教育活動のメリットを活かす。</p>
備 考	統合過程においては、既設校の教育に支障が生じないように、効果的な教員配置、新たな高校との合同授業・行事・クラブなどの教育活動の展開やその際の生徒の高校間移動のための交通手段に配慮する。

【イメージ図】



注1)再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

注2)再編後の( )内の数字は想定募集学級数



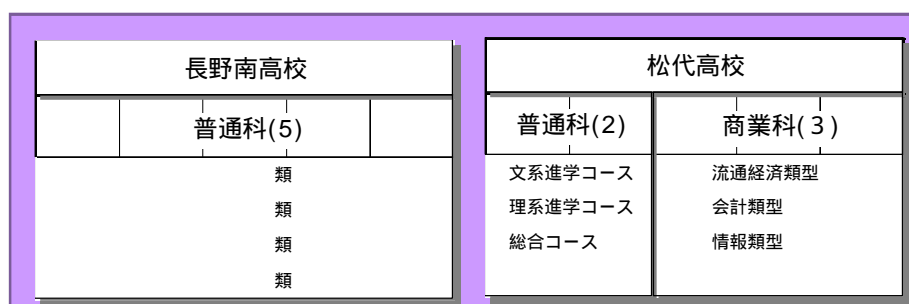
再編対象校【形態】	長野南高校、松代高校【統合】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	松代高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 普通科 5 学級、商業科 2 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 普通科と商業科の総合選択制高校とし、特徴あるクラブ活動が選択でき、地域と連携した教育活動が行われる高校</p> <p><b>【教育課程】</b></p> <p>( 1 ) 普通科は 2 年次よりコース制を導入する。 理系進学コース：2 年次より理数系科目などを多く履修し、理系大学への進学を目指す。 文系進学コース：2 年次より語学、社会科学系の科目などを多く履修し、文系大学への進学を目指す。 総合選択コース：2 年次はオールラウンドに学習し、理系または文系の科目選択は 3 年次に行い、商業科の専門科目も履修できる。</p> <p>( 2 ) 商業科は 2 年次よりコース制を導入する。 流通ビジネスコース：ビジネスの諸活動を経済的視点から学び起業家精神を育成する。 企業会計コース：企業会計の学習を通し、ビジネスの諸活動を分析的・戦略的に見る能力を育成する。 e-ビジネスコース：ビジネスの諸活動で扱われる経営情報の活用やシステム化を学習し、合理的にビジネスに関する情報を運用管理する能力を育成する。</p> <p>( 3 ) 総合選択制を導入し、普通科の総合選択コースと、商業科で相互にそれぞれの学科の科目選択を可能とする。</p> <p>( 4 ) 生徒の進路にあわせ、それぞれの学科・教科に、特徴ある学校設定科目を開設する。</p> <p><b>【そ の 他】</b></p> <p>( 1 ) 統合前の両校で実績のあるクラブとして、ハンドボール、アーチェリー、ボクシング、柔道、剣道や、商業科設置校として特色ある簿記、コンピュータ、ワープロなどを継承し、多彩なクラブ活動が選択できる。</p>

(2) 地域連携による教育活動を継承する。

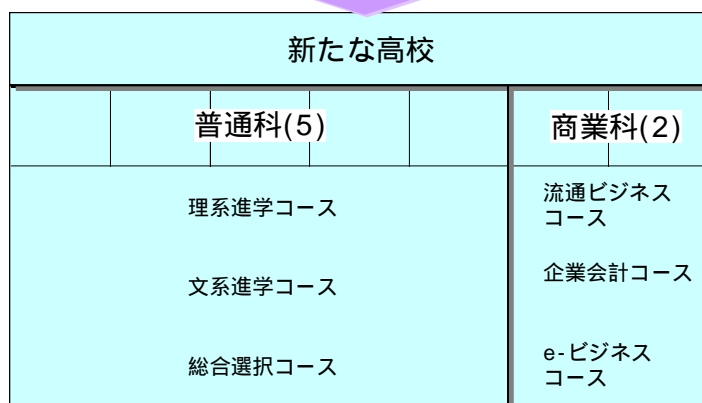
生涯学習を中核とした松代の町づくりに協賛し、地域からの支援を受けるとともに、地域への貢献活動を教育の一環として取り入れ、「エコール・ド・まつしろ」の一翼を担う。

商業科及び普通科で関連科目を選択する生徒は、ビジネス教育の実践の場として、地域の産業からの支援を受けると同時に、地域の経済の活性化にも寄与する。(チャレンジショップの経営、インターンシップの実施、地元商店街活性化への貢献)

【イメージ図】



H19



備考

注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数

再編対象校【形態】	<p>屋代南高校【多部制・単位制】          長野吉田高校（定時制）、長野商業高校（定時制）、          篠ノ井高校（定時制）、上田千曲高校（定時制）【統合】          長野西高校（通信制）【統合】</p>
募集開始年度	<p>平成 20 年度 多部制・単位制設置（長野吉田高校定時制、長野商業          高校定時制、篠ノ井高校定時制、上田千曲高校定時制          の統合）          平成 22 年度 通信制設置（長野西高校通信制の統合）</p>
活用する校地校舎	屋代南高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	<p>多部制・単位制 普通科          午前部 2 学級、午後部 2 学級、夜間部 1 学級          通信制普通科 約 3 0 0 名</p>
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>          通信制を併置した、三部制の多部制・単位制高校として、柔軟な教育システムを活かし、大学等への進学に向けた学習やライフデザインやビジネスの専門に関する学習など、様々な学習ニーズを持つ生徒に対応できる仕組みとするとともに、幅広く学習者を募集し地域の生涯学習の拠点ともなる高校</p> <p><b>【教育課程】</b>          ( 1 ) 入学時に、午前部・午後部・夜間部より所属する部を決めるが、多部制・単位制高校のメリットを活かし、所属以外の部の授業を柔軟に受講でき、3年間で卒業できる。（三修制）          ( 2 ) 多様な学習ニーズに対応し、以下のような選択科目群（系）を設定する。          自然科学系：理系の進学などに対応した選択科目群          国際文化系：文系の進学などに対応した選択科目群          ライフデザイン系：現在設置されているライフデザイン科の専門科目を体系的に履修できるようにした選択科目群          ビジネス・IT系：実務的検定の合格を目指す専門科目を引き継いだ選択科目群          ( 3 ) 2 学期制を採用し、前期・後期ごとに単位認定を行う。          ( 4 ) 編入生や科目履修生の受け入れにも配慮し、前期卒業や後期入学を可能とする。          ( 5 ) 生涯学習講座を開設する。          発展的・実践的な普通科目や実務的な専門科目など地域に開かれた講座を開設する。          地域文化を担う人材やファッションデザイナーなどの専門性の高い著名な外部講師を登用する。</p>

社会人のみならず在校生も一緒に学べる講座とし、単位認定も可能とする。

- (6) 外国籍生徒の学びの場として、受け入れ体制を整える。
- (7) 東北信の定時制・通信制中心校として、ネットワーク型の高校の役割をもつ。

e-Learning などの活用も含めて単位認定を行う。

他校定時制課程の生徒の併修、科目履修者を受け入れる。

定時制や単位制を採用する高校との単位互換により学びをネットワーク化する。

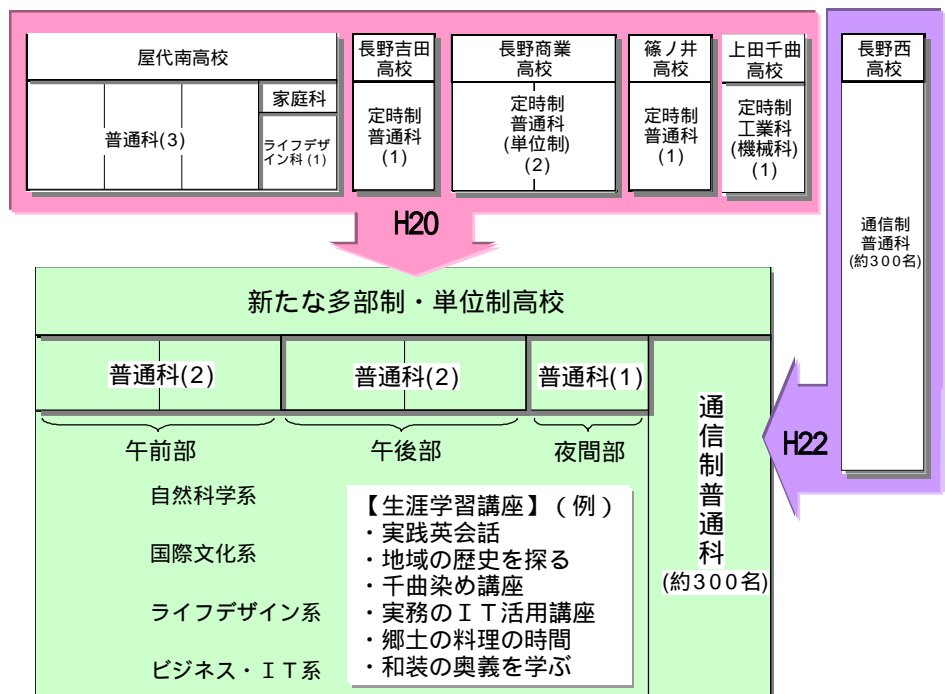
第2通学区の多部制・単位制高校の野沢南高校と連携し、野沢南高校をスクーリングや学習会場として活用する。

【その他】

- (1) 現在行われている地域への貢献活動や地域の行事への参加を継承する。
- (2) 受講計画や科目選択、進路選択等に関する個別相談、カウンセリング等の相談体制の充実を図る。

通信制課程の設置及び長野西高校の通信制課程の統合については、既存の施設設備を有効活用するため、現在の屋代南高校の在校生の卒業後の平成22年度実施とする。

【イメージ図】



注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数

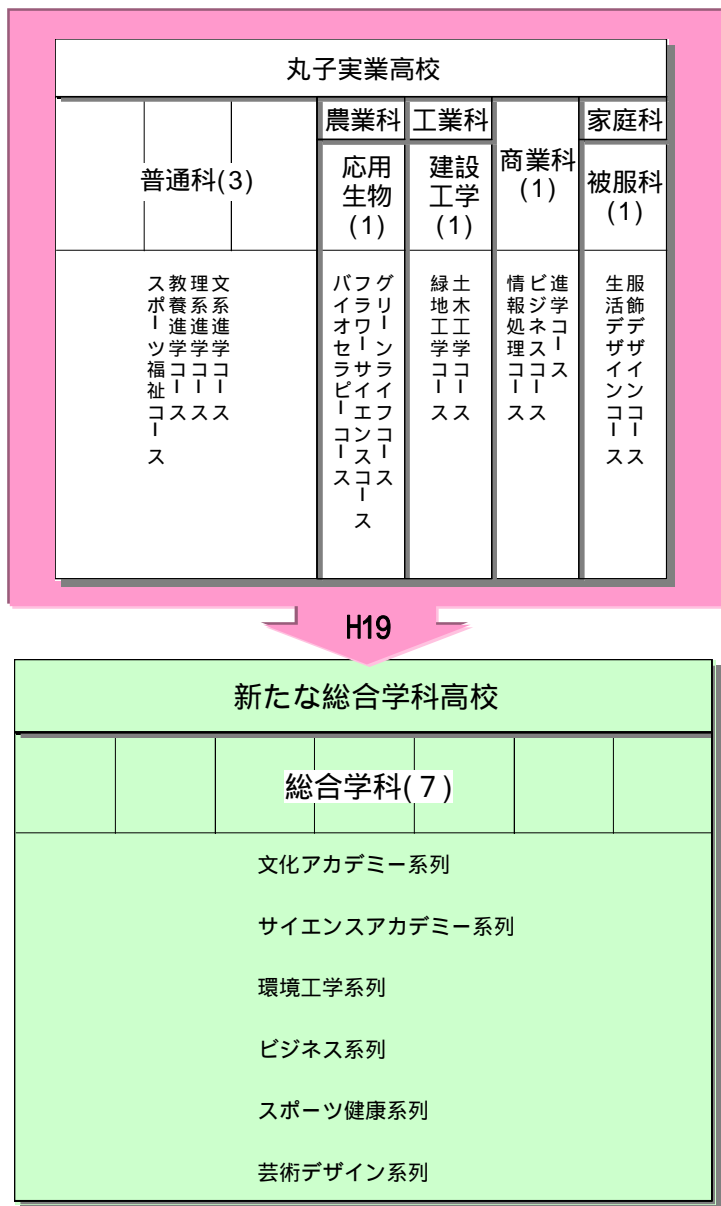
備考

## 8 第2通学区再編整備実施計画

再編対象校【形態】	丸子実業高校【総合学科】
募集開始年度	平成19年度
活用する校地校舎	丸子実業高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 総合学科7学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>          従来からの普通科及び応用生物科、建設工学科、商業科、被服科で行ってきた多彩な教育内容を融合して、地域と連携できる系列を設置し、生徒の多様な学びのニーズに応え、希望する進路の実現を目指す総合学科高校</p> <p><b>【教育課程】</b>          (1) 設置する系列について          文化アカデミー、サイエンスアカデミー、環境工学、ビジネス、スポーツ健康、芸術デザイン等を設置する。それぞれの特徴は          文化アカデミー系列：人文・社会科学や語学を学び、文系進学を目指す選択科目群          サイエンスアカデミー系列：自然科学を中心に学び理系進学を目指す選択科目群          環境工学系列：農業、工業分野等で環境について理解を深める。また実用的技能の修得や資格取得を目指す選択科目群          ビジネス系列：商業、情報分野等でビジネス社会に必要な実用的技能の修得や資格取得を目指す選択科目群          スポーツ健康系列：体育、福祉、食物分野等を学び、専門性を深める選択科目群          芸術デザイン系列：芸術、被服分野等を学び、資質、教養を高める選択科目群</p> (2) 単位制・2学期制とし、前期・後期それぞれに科目選択を可能とする。 (3) 地元大学・短期大学と連携を図る。 系列内容と関連する、大学・短大の専門分野の授業を受講して高校での修得単位に加えていく。 福祉分野や幼児教育分野などで施設・設備等の整っている大学・短大と連携し、体験的な学習を行う。

- (4) 地元産業界等との連携  
 地元企業等と連携してインターンシップを行う。  
 地域の福祉関係施設で体験的活動を行う。  
 地元自治体等と連携し、街づくり事業などに協力していく。
- (5) ガイダンス機能の充実を図り、1年次より継続的にキャリア教育を実施する。
- (6) キャリアアップにつながるような各種の資格・検定等へも積極的に挑戦する。

【イメージ図】



備考

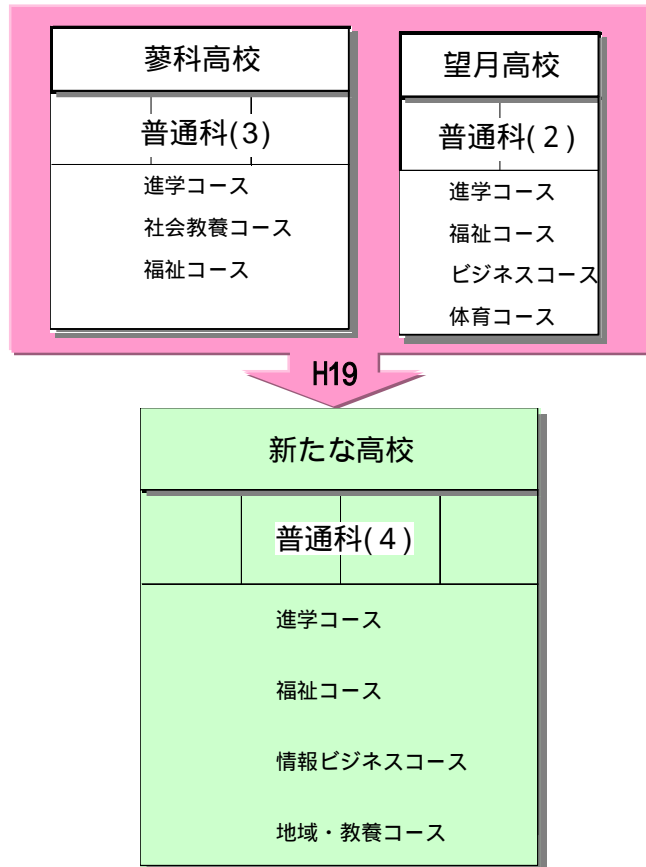
注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数  
 注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数

再編対象校【形態】	蓼科高校、望月高校【統合】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	蓼科高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 普通科 4 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>  進学、福祉、情報ビジネス、地域・教養の 4 コースを設置し、生徒の多様な興味・関心に応え、充実した高校生活と希望する進路の実現を目指す高校</p> <p><b>【教育課程】</b>  (1) コース制について  両校で従来から行ってきたコース制による教育を活かし、以下のようなコースを設置し、1 年次から導入し希望する進路の実現を図る。  進 学 コ ー ス：2 年次からは文系・理系に分け、国公立大学進学も含め、幅広い進学希望に応えていく。  福 祉 コ ー ス：高齢社会に対応するため、地域の福祉施設と連携し、体験的な学習も取り入れ、地域の福祉を積極的に考えていく人材を育成する。  情報ビジネスコース：情報処理・簿記などを学習し、各種資格取得を目指し、ビジネス社会で有用な人材を育成する。  地 域 ・ 教 養 コ ー ス：社会体験や自然体験などを通じて、地域について学び、地域連携を実践しながら社会教養や豊かな個性の育成を目指す。</p> (2) 地域との連携 立科、望月両地域にある福祉施設等と連携し体験的活動を行う。 地域の企業や自治体等と連携しインターンシップを推進する。 <p><b>【そ の 他】</b>  (1) 地域に開かれた学校づくりを目指す。  図書館の土日開放など地域と密着した活動を行う。  地域でボランティア活動を積極的に行う。  外部講師として地域の人材活用を図る。  (2) 地域の特色を活かしたクラブ活動の充実等  ジャズクラブなど特色あるクラブ活動を更に発展させる。</p>

地元中学校と連携しクラブ活動や行事など合同の活動を行う。

- (1) 統合過程において既設校の教育に支障が出ないように効果的な教員配置に配慮する。
- (2) 統合過程において、新しい学校と学習面、行事やクラブ活動等連携して実施する際、必要に応じ生徒の移動手段について配慮する。

【イメージ図】



備 考

注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数



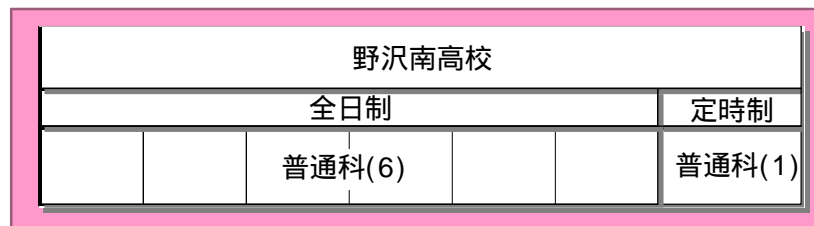
再編対象校【形態】	野沢南高校（全日制・定時制）【多部制・単位制】
募集開始年度	平成 20 年度
活用する校地校舎	野沢南高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	多部制・単位制 普通科 午前部 2 学級、 午後部 1 学級、 夜間部 1 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>  三部制の柔軟なシステムを活かし、得意分野の能力を伸ばして大学や短大、専門学校等への進学を目指す人、基礎から学び直したい人、独自のライフスタイルを持っている人など幅広い学習ニーズに応え、多彩な教育を行うと共に、地域の生涯学習の拠点ともなる高校</p> <p><b>【教育課程】</b>  (1) 入学時に、午前部・午後部・夜間部より所属する部を決めるが、多部制・単位制高校のメリットを活かし、所属以外の部の授業を柔軟に受講でき、3年間で卒業できる。(三修制)  (2) 多様な学習ニーズに対応し、以下のような選択科目群(系)を設定する。  特別進学文系：語学、社会科学等を中心に学び、国公立、私立大学文系等への進学を目指す。  特別進学理系：数学、理科等を中心に学び、国公立、私立大学理系等への進学を目指す。  スポーツ福祉系：一般体育、専門体育理論、生涯スポーツ、福祉等について学ぶ。  文化教養系：芸術、家庭科、伝統文化、文学、歴史、自然科学等幅広く学習する。  情報科学系：情報活用能力、情報社会への参画態度等について学ぶ。  ベーシック教養系：国語、地歴・公民、数学、理科、英語を基礎から学ぶ。  (3) 2学期制を採用し、前期・後期ごとに単位認定を行う。  (4) 編入生や科目履修生の受け入れにも配慮し、前期卒業や後期入学を可能とする。  (5) 生涯学習講座を開設する。  スポーツ福祉系、文化教養系、情報科学系など、地域からの要望に応じた開かれた講座を開設する。  社会人のみならず在校生も一緒に学べる講座とし、単位認定も可能とする。  地域の人材を外部講師として積極的に活用する。  (6) 外国籍生徒の学びの場として、受け入れ体制を整える。</p>

(7) 東信地域の定時制課程や単位制高校の中心校として、ネットワーク型の高校の役割をもつ  
 e-Learning などの活用も含めて単位認定を行う。  
 他校在籍生徒の科目履修者としての受け入れを可能とする。  
 定時制や単位制を採用する高校との単位互換により学びをネットワーク化する。  
 第1通学区の屋代南高校に設置される通信制課程のスクーリングや学習会場としての活用も図る。

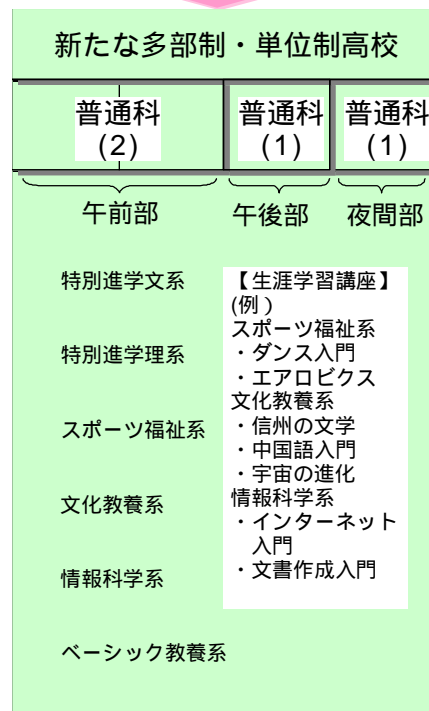
【その他】

- (1) クラブ活動や生徒会活動も積極的に行う。  
 特色を持ったクラブ活動を育成する。(例:新体操、駅伝など)  
 地域と連携した文化祭を開催する。
- (2) 受講計画や科目選択、進路選択等に関する個別相談やカウンセリング等の相談体制の充実を図る。
- (3) 学習室や談話室を整備し、安心して学べる居場所を整える。

【イメージ図】



H20



備考

注1) 再編前の( )内の数字は平成18年度募集学級数

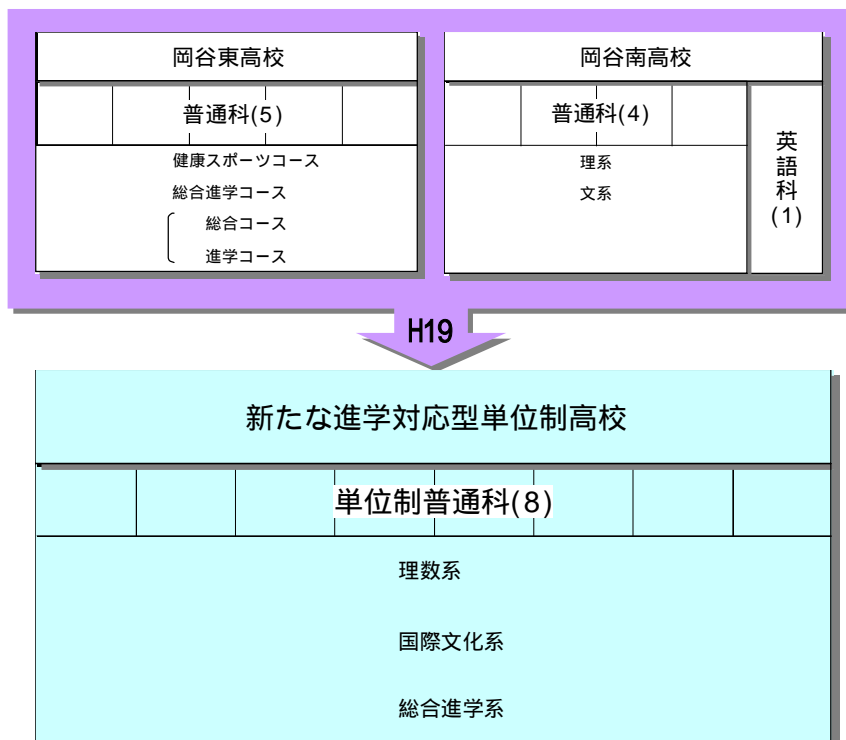
注2) 再編後の( )内の数字は想定募集学級数

9 第3通学区再編整備実施計画

再編対象校【形態】	岡谷東高校、岡谷南高校【統合】
募集開始年度	平成19年度
活用する校地校舎	岡谷南高校、岡谷東高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制単位制 普通科8学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>            単位制により、普通科目の中から大学等進学の見学希望に合わせた科目選択ができ、生徒一人ひとりが希望する見学の実現を目指す見学対応型単位制の高校</p> <p><b>【教育課程】</b>            (1) 単位制の導入により、より柔軟な教育課程を編成し、生徒の見学・興味・関心に沿った科目を設定する。            (2) 体系的な見学ののために、以下のような選択科目群(系)を設定する。                理数系：実験、観察、演習などを通して自然を科学的に探究する基礎知識や方法を学び、理数大学等への見学を目指す。                国際文化系：世界の文化を学び、英語やポルトガル語などによるコミュニケーション能力を身につけると共に、文数大学等への見学を目指す。                総合見学系：人文、社会、自然科学の総合的理解を深め、発展的な内容も学び、多様な希望する見学の実現を目指す。            (3) 2学期制を採用し、学期ごとの科目履修を可能とする。            (4) ガイダンス機能の充実を図り、その上できめ細かな見学指導を行うなど、十分なサポート体制を確立する。            (5) 単位認定を見学視野に入れた県内大学、短期大学との連携を図る。            (6) 地元の国際交流協会等と連携し、小学校の英語教育に協力するなど、地域に貢献できる活動を行う。</p> <p><b>【その他】</b>            (1) バレーボール、スケート、ボートなど、地域で盛んなスポーツのクラブ活動を発展させる。            (2) 地域との連携を深め、地域や企業の人材を講師として活用する。            (3) 当面、総合見学系は、岡谷東高校の校舎を主に活用し、理数系、国際文化系は、岡谷南高校の校舎を活用しながら、岡谷南高校の校地・校舎に統合していく。</p>

備 考

【イメージ図】



注1)再編前の( )内数字は平成18年度募集学級数

注2)再編後の( )内数字は想定募集学級数

再編対象校【形態】	箕輪工業高校（全日制・定時制）【多部制・単位制】 上伊那農業高校（定時制）【統合】
募集開始年度	平成 20 年度
活用する校地校舎	箕輪工業高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	多部制・単位制 普通科 午前部 2 学級、午後部 1 学級、夜間部 1 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 三部制の多部制・単位制高校として、柔軟な教育システムを活かし、生徒の多様な学習ニーズに応え、一人ひとりの個性に応じて、希望する進路の実現を目指す共に、地域の生涯学習の場ともなる高校</p> <p><b>【教育課程】</b>  (1) 入学時に、午前部・午後部・夜間部より所属する部を決めるが、多部制・単位制高校のメリットを活かし、所属以外の部の授業を柔軟に受講でき、3年間で卒業できる。（三修制）  (2) 多様な学習ニーズに対応し、以下のような選択科目群（系）を設定する。  自然科学系：理科科目や数学を中心に学び、国公立 4 年制大学理系進学希望の実現を目指す。  人文国際系：国語、地理、歴史、英語などを中心に学び、国公立 4 年制大学文系進学希望の実現を目指す。  専門学科系：工業科目などの専門科目を体系的に履修でき、専門的な学習ができる。  文化教養系：高校の基礎科目などをじっくり学習し、社会教養や豊かな個性の育成を目指す。  (3) 2 学期制を採用し、前期・後期ごとに単位認定を行う。  (4) 編入生や科目履修生の受け入れにも配慮し、前期卒業や後期入学を可能とする。  (5) 生涯学習講座を設定する。  発展的、実践的な普通科目や実務的な専門科目などの地域に開かれた講座を開設する。  地域の人材を外部講師として積極的に活用する。  社会人を含めた科目履修生と在籍生徒が合同で受講する。  (6) インターンシップ等の学校外学修や資格取得による単位認定を工夫する。  (7) 外国籍生徒の学びの場として、受け入れ体制を整える。  (8) 南信地域の定時制課程や単位制高校の中心校として、ネットワーク</p>

型の高校の役割をもつ

e-Learning などの活用も含めて単位認定を行う。

他校在籍生徒の科目履修生としての受け入れを可能とする。

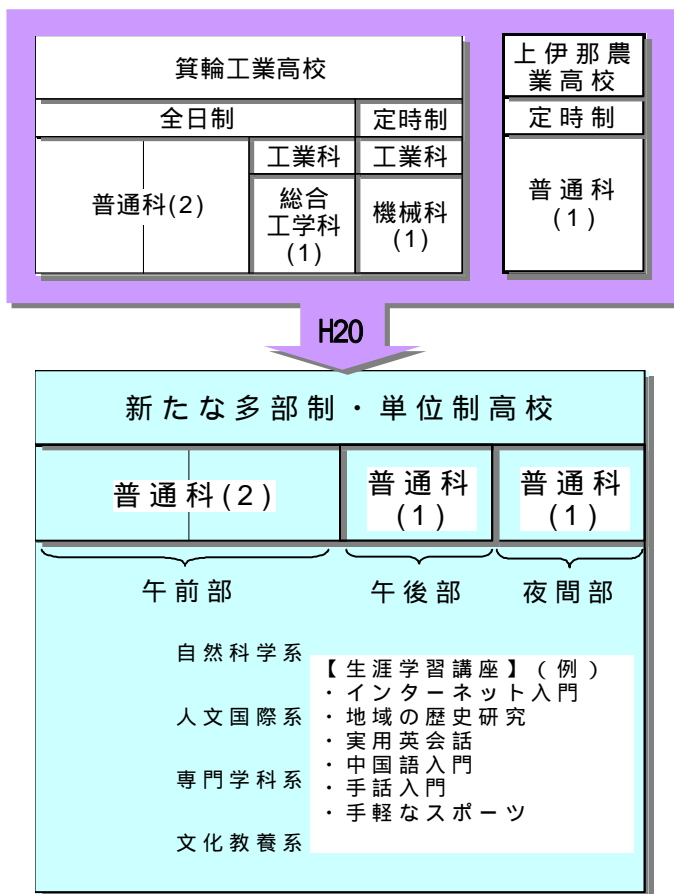
定時制や単位制を採用する高校との単位互換により、学びをネットワーク化する。

第4通学区の松本筑摩高校に設置される通信制課程のスクーリングや学習会場としての活用も図る。

【その他】

- (1) 地元産業界との連携による体験型学習を導入する。
- (2) 受講計画や科目選択、進路選択等に関する個別相談、カウンセリング等の相談体制の充実を図る。
- (3) クラブ活動や生徒会活動に積極的に取り組む。(フェンシング、ロボット、ボランティア、など)

【イメージ図】



注1) 再編前の( )内数字は平成18年度募集学級数

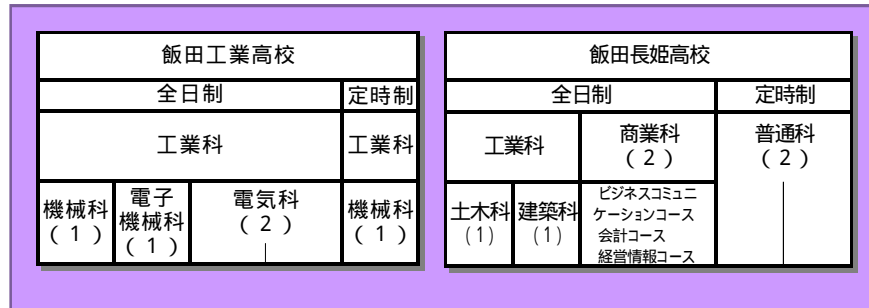
注2) 再編後の( )内数字は想定募集学級数

備考

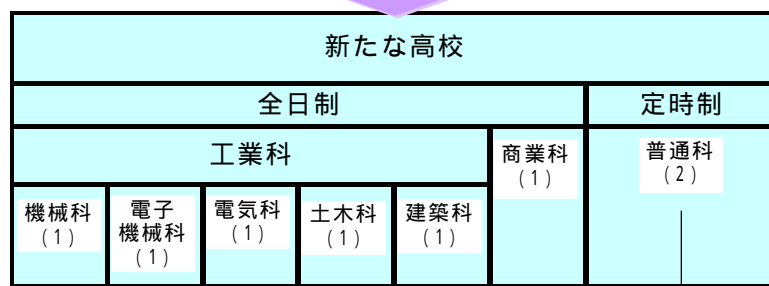
再編対象校【形態】	飯田工業高校（全日制・定時制）、飯田長姫高校（全日制・定時制） 【統合】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	飯田工業高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 工業科 5 学級（機械 1、電子機械 1、電気 1、土木 1、 建築 1） 商業科 1 学級 定時制 普通科 2 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>          全日制は、職業教育を主とする専門高校として、下伊那地域の「ものづくり」を基本に据えて専門性を高める高校          定時制は、様々な生活歴・学習歴をもつ多様な生徒への学習支援を行い、生徒が希望する進路の実現を図る単位制高校</p> <p><b>【教育課程】</b>          (1) 「ものづくり」を通して、地域社会の発展に貢献する能力と態度を育成する。          系統的な各分野の職業教育の学習を通して、キャリア教育を行い、職業観を育成          大学科、小学科の枠を超えて科目選択ができる仕組みづくり          (2) 生徒一人ひとりの進路希望に対応する教育課程を編成する。          産業社会で必要とされる資質を身につけた人材の育成          ・積極的な資格取得・検定への挑戦と合格率の向上          ・各種競技会、コンテストへのチャレンジ          ・地元企業などでの現場研修の実施          継続教育の視点から、多様な入試方式に対応した大学等への進学を視野に入れた教育課程の編成          (3) 地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。          地域との連携による企業見学やインターンシップの実施          産業教育の実践の場として、地域への貢献活動          (4) 定時制は、単位制とする。          多部制・単位制高校の箕輪工業高校、松本筑摩高校との連携を図り、3年間での卒業を可能とする。          e-Learning による学習を推進する。          様々な生活歴を持つ生徒の居場所としての役割を果たす。</p>

- (1) 統合過程において、両校間の生徒移動手段に配慮する。  
 (2) 統合に際し、飯田工業高校に、必要な施設・設備を整備する。

【イメージ図】



H19



注1) 再編前の( )内数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内数字は想定募集学級数

備 考



10 第4通学区再編整備実施計画

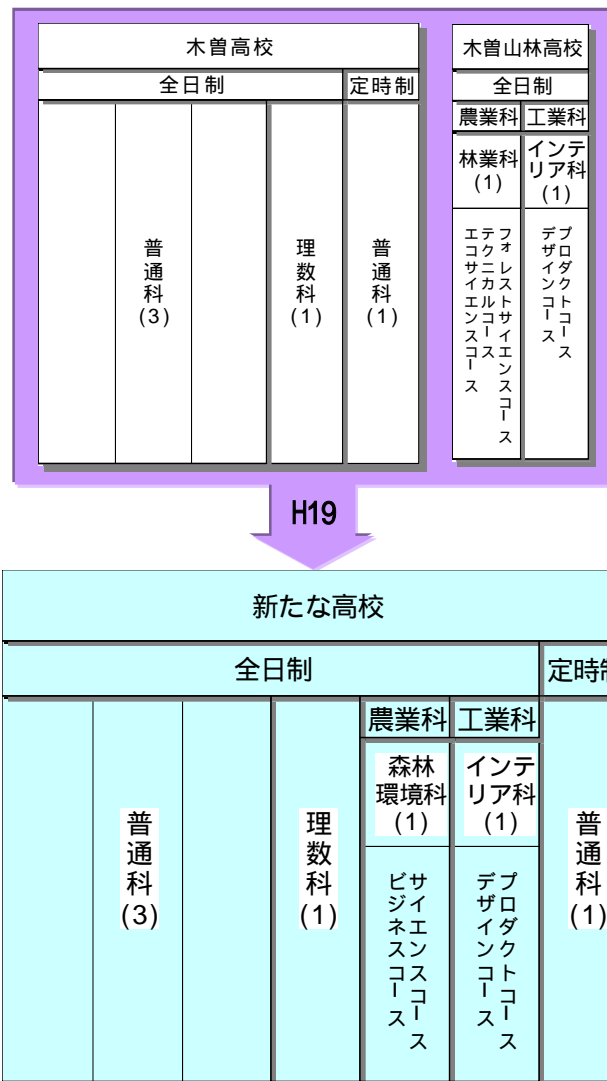
再編対象校【形態】	木曽高校、木曽山林高校【統合】
募集開始年度	平成19年度
活用する校地校舎	木曽高校、木曽山林高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 普通科3学級、理数科1学級、農業科1学級（森林環境） 工業科1学級（インテリア） 定時制 普通科1学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 普通科、特色学科、専門学科を併設し、多様な生徒の希望する進路に応えることができる学びの選択肢を持つ総合選択制高校</p> <p><b>【教育課程】</b></p> <p>(1) 普通科、理数科、森林環境科、インテリア科の複数の学科を併設することにより、生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望などに応じ、多様な学習を行うとともに、生徒が希望する進路の実現を目指す。</p> <p>(2) 林業科は、森林の役割と産業の変化を踏まえて森林環境科に学科改編し、コース制を導入する。 サイエンスコース：森林利用や環境保全について学び、循環型社会を創造する人材を育成する。 ビジネスコース：森林の基本的な理解を基にビジネスに関する学習を通して、地域産業界の即戦力を育成する。</p> <p>(3) インテリア科は、次の2コースの充実・発展を図る。 プロダクトコース：木工製品の製作実習を通して、企画・設計・製作・発表という流れの学習を展開する。 デザインコース：暮らしを豊かにする見地からデザインし、プレゼンテーション能力の育成を目指す。</p> <p>(4) 総合選択制を導入し、普通科と専門学科の間で相互にそれぞれの学科の科目選択を可能とする。</p> <p>(5) 大学や研究機関、林業大学校、地元中学校などと連携を強化する。</p> <p>(6) 定時制課程については、以下に配慮する。 単位制を導入する。 カウンセリング体制の整備や外部専門機関との連携を強化する。 松本筑摩高校との連携を図り、定通併修による3年間での卒業を可能とする。</p>

【その他】

- (1) 地域と連携したインターンシップ、看護・福祉体験などの取り組みを継続・発展させる。
- (2) 木曽高校が現在保有する清和寮を活用しての森林環境科及びインテリア科の全国募集を検討する。

- (1) インテリア科の施設・設備の一部を木曽高校に移設する。
- (2) 普通科目の授業は木曽高校の校舎で行い、森林環境科の専門科目及びインテリア科の専門科目の一部の授業は、当面木曽山林高校の校舎で行う。
- (3) 両校の校地・校舎の活用にあたっては、生徒の移動手段に配慮する。

【イメージ図】



備 考

注1) 再編前の ( ) 内数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の ( ) 内数字は想定募集学級数

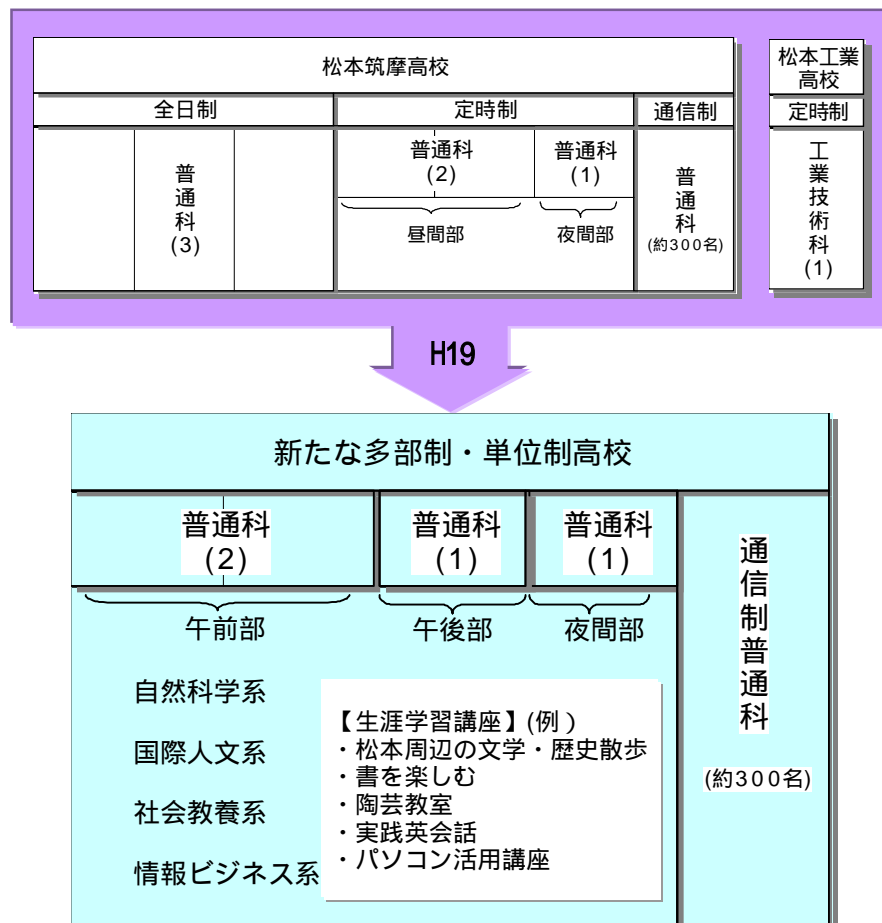
再編対象校【形態】	松本筑摩高校（全日制・定時制）【多部制・単位制】 松本工業高校（定時制）【統合】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	松本筑摩高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	多部制・単位制 普通科 午前部 2 学級、午後部 1 学級、夜間部 1 学級 通信制普通科 約 300 名
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b>  これまで培ってきた単位制をさらに発展させ、通信制を併置した、三部制の多部制・単位制高校として、柔軟な教育システムを活かし、様々な生活歴、学習歴を持った生徒の多様な学習ニーズに応え、一人ひとりの個性を伸ばし、希望する進路の実現を目指すとともに、地域の生涯学習の拠点ともなる高校</p> <p><b>【教育課程】</b>  (1) 入学時に、午前部・午後部・夜間部より所属する部を決めるが、多部制・単位制高校のメリットを活かし、所属以外の部の授業を柔軟に受講でき、3年間で卒業できる。（三修制）  (2) 多様な学習ニーズに対応し、以下のような選択科目群（系）を設定する。  自然科学系：数学・理科などの科目を中心に学び、理系大学や短大、専門学校などへの進学を目指す。  国際人文系：語学や文学、歴史などを中心に学び、文系大学や短大、専門学校などへの進学を目指す。  社会教養系：国語、数学、英語などを基礎からじっくりと学習し、豊かな社会教養を身に付ける。  情報ビジネス系：情報やビジネスなどに関する学習を通して、情報化社会に対応できる資質・能力を育成する。  (3) 2学期制を採用し、前期・後期ごとに単位認定を行う。  (4) 編入生や科目履修生の受け入れにも配慮し、前期卒業や後期入学を可能とする。  (5) 生涯学習講座を充実させる。  教養的・実践的な普通科目などを中心に地域にも開かれた講座を開設する。  地域の人材を外部講師として活用する。  社会人のみならず在校生も一緒に学べる講座とし、単位認定も可能とする。</p>

- (6) 外国籍生徒の学びの場として、受け入れ体制を整える。
  - (7) 中南信の定時制・通信制中心校として、ネットワーク型の高校の役割をもつ。
- e-Learning などの活用も含めて単位認定を行う。  
 他校定時制課程の生徒の併修、科目履修者を受け入れる。  
 定時制や単位制を採用する高校との単位互換により、学びをネットワーク化する。  
 第3通学区の多部制・単位制高校の箕輪工業高校と連携し、箕輪工業高校をスクーリングや学習会場として活用する。

【その他】

- (1) 受講計画や科目選択、進路選択等に関する個別相談、カウンセリング等の相談体制の充実を図る。
- (2) 地域と連携した体験型学習やインターンシップの導入を推進する。

【イメージ図】



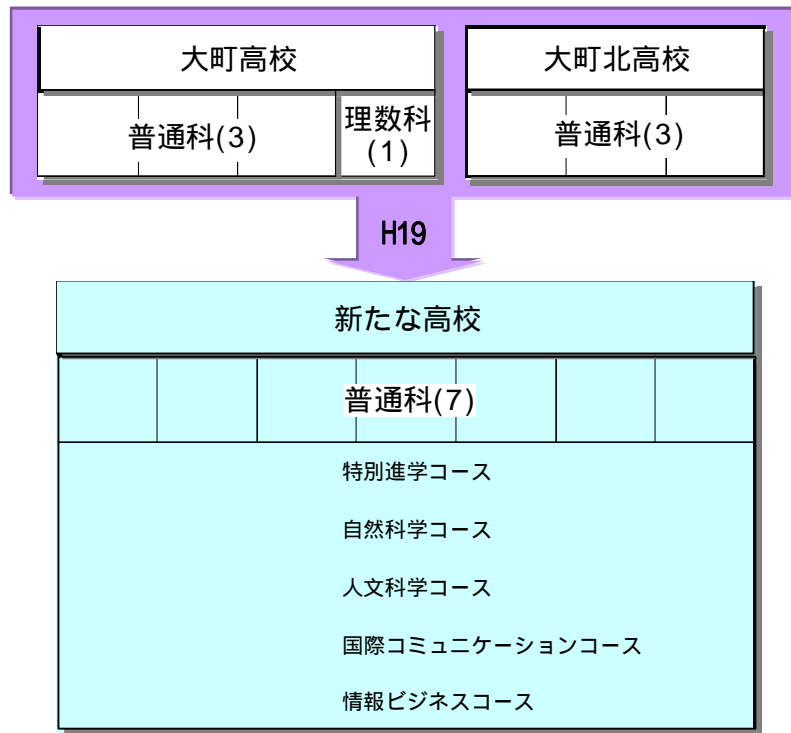
備考

注1) 再編前の( )内数字は平成18年度募集学級数

注2) 再編後の( )内数字は想定募集学級数

再編対象校【形態】	大町高校、大町北高校【統合】
募集開始年度	平成 19 年度
活用する校地校舎	大町高校
設置課程・学科及び 想定する学級規模	全日制 普通科 7 学級
教育の特色	<p><b>【学校の特色】</b> 特別進学、自然科学、人文科学、国際コミュニケーション、情報ビジネスの 5 コースを設置し、生徒の多様な学びのニーズに応え、希望する進路の実現を目指す高校</p> <p><b>【教育課程】</b> (1) 生徒の広い学力幅にきめ細かく対応するとともに、多様な学習ニーズに応えるため、コース制を導入する。 特別進学コース：応用・発展的な内容に重点をおいた学習を展開し、国公立・私立 4 年制大学などへの進学を目指す。 自然科学コース：講義だけでなく、実験・演習・観察などを通して、自然を科学的に探究しようとする態度や能力を育成する。 人文科学コース：日本の古典や伝統文化などについて学ぶことを通して、感性や創造性を磨き、読解力や豊かな創造力を育成する。 国際コミュニケーションコース：英語の力を高めるとともに、ポルトガル語、中国語などを学ぶことを通して、豊かな国際性とコミュニケーション能力を育成する。 情報ビジネスコース：専門科目の学習を通して、ビジネス社会の営みについての理解を深めるとともに、情報を活用する能力を育成する。</p> <p>(2) 生徒の進路などに合わせ、それぞれのコースに、特色ある学校設定科目を開設する。 (3) 大学や研究機関、企業などとの連携講座の充実を図る。</p> <p><b>【その他】</b> (1) 学校行事・課外活動などでは、大町高校の全校登山、大町北高校のアジア・アフリカ難民支援運動、放送部、バドミントン部などの取り組みを継続・発展させる。 (2) 施設訪問などの地域貢献活動、運動クラブの中学生との合同練習など、現在行われている地域連携活動は継続して実施する。</p>

【イメージ図】



備 考

注1)再編前の( )内数字は平成18年度募集学級数

注2)再編後の( )内数字は想定募集学級数

## 再編整備の概要

	総合学科高校の設置	多部制・単位制高校の設置	統合
第1 通 学 区	<p>中 野 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中野実業</span></p> <p>統合して総合学科に転換</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">屋代南</span></p> <p>↓</p> <p>多部制・単位制に転換</p> <p>長野吉田定時制・長野商業定時制・篠ノ井定時制・上田千曲定時制・長野西通信制を統合</p>	<p>飯山照丘 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">飯山南</span></p> <p>↓</p> <p>統合 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">飯山北</span></p> <p>↓</p> <p>統合（飯山北の校舎改築に合わせて）</p>
			<p>中 条 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">犀 峡</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>
			<p>長 野 南 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">松 代</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>
第2 通 学 区	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">丸子実業</span></p> <p>↓</p> <p>総合学科に転換</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">野 沢 南</span></p> <p>↓</p> <p>多部制・単位制に転換</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">蓼 科</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">望 月</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>
第3 通 学 区		<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">箕輪工業</span></p> <p>↓</p> <p>多部制・単位制に転換</p> <p>上伊那農業定時制を統合</p>	<p>岡 谷 東 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">岡 谷 南</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>
			<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">飯田工業</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">飯田長姫</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>
第4 通 学 区	<p>【塩尻志学館】（既設）</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">松本筑摩</span></p> <p>↓</p> <p>多部制・単位制に転換</p> <p>松本工業定時制を統合</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木 曾</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">木曾山林</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>
			<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大 町</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大 町 北</span></p> <p>↓</p> <p>統合</p>

学校名 は校地・校舎を活用する学校